

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	コロナ禍であったため、ウッドデッキで外気浴することで、季節の風を肌で感じ、木々の移ろいを視覚で感じる機会であると捉え、気分転換を行っていた。他者との挨拶やコミュニケーションがないこと、歩行の機会が少ないことも、身体機能の低下、知的機能の低下につながっていると考えられる。	定期的に外出の機会を持ち、メリハリのある生活を送ることで、精神的に安定することが出来る。体を動かすこと、外気に触れることで、精神的にも元気になる効果が期待され、心身ともに生き生きと毎日を送れるよう、活動を取り入れていきたい。	ご近所への散歩、イベントに参加する。庭いじり、草むしり、ホームの前にあるベンチで外気浴、ドライブに出かけ、懐かしい街の様子、移り変わり、景色を観ながら昔を振り返り、会話を楽しむ。	10か月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。